

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	チャイルドハート大在			
○保護者評価実施期間	2025年 11月 19日 ~ 2025年 12月 31日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23	(回答者数)	14
○従業者評価実施期間	2026年 1月 5日 ~ 2026年 1月 29日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数)	11
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 29日			

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	○戸外活動が多く、公園遊びやプール遊び等、身体を動かして遊ぶことを子ども達と一緒に職員も楽しみながら、感覚統合を促す活動をしている所	○専門的支援では、1人1人の特性や発達に応じた専門的支援計画を作成し、身体の動かし方や、力の加減、気持ちの切り替え方等、個別活動や集団活動をしている	○子ども達がやってみたいこと等を聞いて、それを計画に取り入れる等、子ども達の「やってみたい！」「行ってみたい！」「挑戦したい！」という気持ちを大切に、成長・発達を意識した活動を提供する
2	○様々な活動や体験を通して、ライフスキル、ソーシャルスキルの向上を目指した活動をしている所	○電車に乗って地域のイベントに参加したり、お買い物に行ってクッキングをしたり、お店で外食をしたり等、将来社会で生きていく為のスキルが身に付くよう、様々な体験ができる	○お子さんが楽しみながら年齢に沿った成長・発達・スキルの獲得が出来るように、様々な体験・行事を計画していく
3	○保護者会の開催や、保護者様とのモニタリングやアセスメント、相談対応(家族支援)等、保護者様やきょううだい児さんとの交流も大切にしており、一緒に子育て・療育をしている気持ちで対応させてもらっている所	○保護者様にもイベント活動に参加してもらい、お子さんの日頃の様子や成長した姿を見て頂いたり、保護者さん同士やきょううだい児さん同士の交流の場となるようにしたり等、保護者様参加型の行事を実施している	○これからも、保護者様やきょううだい児さん同士の交流の場や、意見交換会等が実施出来るようにしていく

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	○午睡をする部屋がない	○まだお昼寝が必要なお子さんは、午後から園へ送るか、事業所内で午睡してもらっているが、午睡できるスペースが狭くて困っている	○利用時間を午後へ変更し、午睡が必要なお子さんは少し寝てから活動開始できるようにしていく
2	○保護者様も参加していただく行事をするにはスペースが狭い	○保護者会では、保護者様にもご協力いただくことで活動出来ているが、思いきり身体を動かすような活動はむずかしい	○公民館を借りる等して、活動スペースを確保するようにする
3	○園庭がない	○外の駐車場にてプール活動をすることもあるが、車の出入りがあり、のびのびと活動するのがむずかしい	○公共のプールや公園へお出かけして、沢山身体を動かして遊べるよう工夫していく

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		チャイルドハート大在					公表日	2026年 2月 15日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点		課題や改善すべき点		
環境 ・ 体 制 整 備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	11	0	利用定員10名で活動するのにはちょうど良い発達支援室のスペースがあります		午睡できる部屋がない為、仕切りで分ける等の工夫が必要だと考えています。		
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	11	0	保育士、社会福祉士、介護福祉士等の有資格者である職員が11名在籍しており、10人の利用定員に対して5~8名の職員で毎日支援しています。		お子さんの成長・発達に合わせて、適切な支援が出来るようにより一層、職員のスキル向上を目指します。		
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	11	0	名前や個人のマークを表示し、自分の場所に荷物を片付けられる様工夫しています。又、文字だけでなく、絵や写真カードを用いて一日の活動スケジュールを伝えるようにしています。		どのお子さんにも、物の場所やスケジュールがわかりやすく、過ごしやすい環境に配慮します。		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	11	0	利用後は室内、トイレ、車中も安全な次亜塩素酸水を使って除菌、清掃を行なっています。又、玩具等は棚や倉庫に収納しており、使用する際に出すようにして、空間を広く使えるように配慮しています。		感染症対策として加湿や換気を行ない、今後も継続して清潔な空間が保てるようにします。		
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10	1	個別の部屋はありませんが、必要に応じてパーテーションを使用し、お子さんが集中したりカームダウンできる空間作りをしています。		必要に応じて、お子さんが安心出来る場所作りを工夫、検討していきたいと思います。		
業務 改 善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	11	0	事業所の指針を定め、朝礼で唱和しています。又、お子さん1人ひとりの支援目標を全職員が把握した上で支援を行っており、終礼時と記録の際に振り返りを行なっています。		終礼時のミーティングで支援内容について共通認識を持てるように情報共有をしております。引き続き、職員が高い意識を持って、一人ひとりのお子さんに合った支援を行なっていきたいと思います。		
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11	0	毎年保護者の方から保護者評価アンケートを頂き、その内容を踏まえ、支援の振り返りや改善点の確認を行なっています。		保護者さんから頂いたご意見を参考に、保護者さんやお子さんのニーズに答えられるよう、職員で検討して参ります。		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11	0	職員会議や日々の朝礼、終礼のミーティングで職員同士の意見を出し合い、それぞれの考え方を伝え合うようにしています。		日頃から、職員ミーティングを大切にしておりますが、職員同士お互いに高め合い、質の高い支援が行えるよう努力して参ります。		
	9 第第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	11	0	第三者評価を外部機関にお願いはしておりますが、毎年チャイルドハートFC本部に外部評価をしてもらい、課題を把握し改善に努めています。		今後、必要に応じて、第三者による外部評価を行っていくか検討してまいります。		
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	11	0	チャイルドハートFC本部が主催する、学習支援や感覚統合、身体の発達についてや、虐待防止等の様々な研修に参加し、支援の向上や職員の資質向上に努めています。又、大分県や大分市が主催する研修にも積極的に参加しています。		大分市にあるチャイルドハート5事業所の職員で集まって合同研修会を行っており、支援内容の事例検討や、感覚統合、就労移行についての学習会等を実施しました。今後も継続し職員間で学びたいことを出し合いながら、様々な研修を行い、職員同士でスキルの向上を目指します。		
児童 発達 支援 計画 の実現 状況	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	11	0	分かりやすいようにイラストを用いて作成しており、保護者さんには作成後お知らせし、事業所に掲示とHP上にも掲載しております。		1枚で作成してあるので、わかりにくい部分の補足は口頭で説明させて頂いておりますが、わかりやすいよう又追加でプログラムを作成していくことを検討中です。		
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	11	0	アセスメントシートを用いて、保護者さんにアセスメントを行ない、ニーズの整理表にてニーズを整理し分析した後に計画案を作成しています。その後、計画案の内容に同意を頂き、職員でカンファレンスをして、支援目標についての検討を行ない支援計画を作成しています。		お子さんへのニーズの聞き取りは、口頭で聞き、計画内容について説明をしてから同意をもらっています。モニタリング会議にも参加出来るお子さんには少しの時間参加してもらい、自分自身の課題や目標を一緒に検討していけるようにしていきます。		
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	11	0	計画案の作成時に個別支援会議を行い、計画内容の検討を行なっています。又、計画案作成後職員でカンファレンス会議を行い、計画内容について検討し、理解を深め、共通認識が持てるようになります。		児童発達支援管理責任者基礎研修を終えたOJT期間中の職員にも、計画案の作成やモニタリング会議に参加してもらっており、今後も子どもの支援に関わる職員みんなで検討して計画作成を行います。		
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	11	0	支援計画内容の内容はカンファレンスにて職員間で共有し、計画に沿った支援を行い、支援の振り返りの内容を記録しております。		今後も職員間で支援内容と目標を共有し、子どもの成長や発達に合った支援を行えるようにして参ります。		

適切な支援の提供	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	11	0	チャイルドハートで作成したアセスメントシートを使用し、前回のアセスメントの記録も振り返りながら現在の様子と比較検討し、課題が見出せるようにしています。又、日々の支援記録とは別に終礼時に行う情報共有の内容は特記事項として記録し、計画案の作成時に活用しています。	今後も適切なアセスメントが出来るように、アセスメントツールの内容を検討して参ります。
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	11	0	ガイドラインに沿って、「本人支援」の5領域と「家族支援」「移行支援」「地域支援」の項目に分け、お子さんの発達段階やご家族を取り巻く環境に合わせて計画を作成し、なるべく具体的な目標設定や支援内容を記入するように心掛けています。	これからも、保護者さんやお子さんにわかりやすく、一人ひとりの発達段階に合った目標、課題を詳しく設定された支援計画を作成していく様にしていきたいと思います。
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	11	0	季節や天気、子どもの成長に沿って活動内容を工夫し、色々なことに挑戦出来るように活動プログラムを職員みんなで検討しながら立案しています。	昨年度より、専門的支援の実施が始まりましたので、職員間で意見を出し合ながら、専門性が高く、子ども達の心身の発達や感覚統合を意識した活動を計画していきたいと思います。
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	11	0	季節を感じられる行事や、色々な感覚統合遊び、集団活動、運動療育、コグトレ(学習支援)、ライフスキルトレーニングを取り入れています。	お子さんのやりたい！やってみたい！という気持ちを大切にし、ニーズを聞き取り、活動に取り入れられるように工夫していきます。
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	11	0	1人ひとりの課題や強みに応じて、集団活動や個別活動を取り入れ、支援目標に沿った療育を行なえる様に支援計画を作成しています。	支援計画を基に、お子さんの課題に沿った個別活動と集団活動を実施し、お子さんが楽ししながら成長していく様支援していきます。
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	11	0	その日リーダーが職員の役割分担を行ない、朝礼時に全職員で確認を行なっています。	これからも、チームで連携して支援することを大切にしていきたいと思います。
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	11	0	終礼で児童1名ずつ、その日の様子や支援内容の振り返り、気づいた点等を職員間で共有しています。又、その日休んでいた職員にも情報伝達が出来る様に、業務日誌や個別支援記録で情報共有を行っています。	引き続き、終礼時のミーティングで支援内容についての情報共有を行い、お子さんの小さな変化にも気づき、職員間で共通認識を持つて支援出来る様にしていきます。
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	11	0	毎日支援目標に沿った記録を実施し、終礼時や個別支援会議にて、支援内容について改善点の検討を行ない、改善するようにしています。	個別支援会議やカンファレンス会議の際に職員みんなで記録の振り返りを行っているので、今後も支援内容について検証し、改善につなげていきたいと思います。
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	11	0	保護者さんに意向をお伺いした上で、3ヶ月から半年に1回モニタリングを行ない、保護者さんやお子さんのニーズを元に、計画の見直しを行うようにしています。	これからも、お子さんの情緒面や、通園先・ご家庭での状況等により、保護者さまの意向をお伺いしてモニタリングの時期を設定していくようにします。
関係機関や保護者との連携	24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	11	0	会議前に子どもの今の様子を振り返り「子ども理解シート」を作成し、日頃の様子や成長した所、課題点等を整理した上で、管理者又は児発管だけでなく、保育士、児童指導員から、対象の児童への理解の深い職員が参加出来る様にしています。	担当者会議がお子さんの利用時間に開催されることが多い為、児発管または管理者が参加させてもらうことが多いので、今後もJIT期間中の職員を中心に、担当者会議に参加してもらえるようにしていきたいと思います。
	25 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	11	0	関りのある社会資源の関係機関の方々とは、ケース会議を行ったり、お電話にて情報共有を行う等して連携させてもらっています。	保護者支援や移行支援でも、様々な関係機関の方と連携しサポートしていく様にします。
	26 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	11	0	担当者会議にて支援内容を共有させてもらったり、支援計画や、モニタリング評価、子ども理解シートをお渡しさせてもらい、支援内容の共有をさせてもらっています。	移行支援等、インクルージョン推進を意識した取り組みを、今後も実施していく様にします。
	27 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	11	0	入学後、小学校の先生に渡せるように「つながりファイル」や「子ども理解シート」を作成して児童発達のときの様子をお知らせ出来るようにしています。	保護者さんと相談し、学校の先生方との情報共有の希望があれば、相談支援専門員さんにもご協力頂き、ケース会議を行います。
	(28~30は、センターのみ回答)				
	28 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	(31は、事業所のみ回答)				地域の児童発達支援センターさんとの連携を

保護者への説明等	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	0	11	実施なし	行つ様云は、ラモジノイジタカ、ラボルーパーバイズや助言を頂ける機会を検討していきたいと思います。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	9	2	公園等の公共の場所に出かけ、地域の方とふれあう活動を取り入れています。	子ども園、幼稚園との交流を持つ機会はないので、今後実施していくよう検討していきます。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	11	0	連絡帳にてその日の活動や成長の様子をお知らせしたり、送迎時やお電話等でご家庭での様子を伺っています。	これからも保護者様との連携を大切にし、わかりやすい情報伝達が出来るように心掛け、発達状況や課題について、共通理解出来るようにしていきます。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	11	0	保護者様も参加される活動を定期的に実施し、日頃の様子を見ていたいたり、一緒に活動参加してもらうことで、情報共有し共通理解が持てるようになっています。	今後も、保護者会等で保護者様同士の意見交換会や、保護者様向けの研修等を行い、ご家族の対応力の向上を図る為の取り組みを計画していきたいと思います。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	11	0	運営規程、支援プログラム、利用者負担等については契約時になるべくわかりやすく丁寧に説明する様にしています。	支援プログラムについて、よりわかりやすくする為に、保護者様からもご意見を頂き、職員間で検討を行う等して、補足事項の追加ができるようにしていきたいと思います。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	11	0	モニタリングの際に保護者様からの意向を伺い、ご本人にはやってみたいことや出来るようになりたいことを伺った上で、計画作成をしています。	お子様の意向がはっきりとわからない時は、保護者様中心のニーズになってしまいがちなので、本人の意向を確認した上で計画が立てられるようにしたいと思います。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	11	0	児童発達支援計画を見て頂きながら、口頭で支援内容についての説明をさせてもらい、保護者様とご本人にも同意のサインをいただくようにしています。	今後もお子さんと保護者様の意向を取り入れ、同意して頂いた上で支援をおこなっていきたいと思います。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	11	0	モニタリング後にご相談があれば、その都度相談支援を行なうようにしています。それ以外でご相談がある際には、お電話又は事業所やご自宅にて相談支援を行っております。	保護者様と一緒に子育て・療育をさせて頂いている気持ちで、保護者様のお話を傾聴し共感しながら、適切な助言が行えるようにしていきたいと思います。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	11	0	今年度は一緒にあそぼう会、ハロウィンパーティ、クリスマス会、親子遠足、就学移行支援等に保護者様やきょうだい児さんにも参加していただく行事を行いました。「保護者同士の交流になった」「きょうだい児さんも楽しかった、また行きたいと言っていた」等のご感想をいただき、大変好評でしたので、今後も定期的に開催していきたいと思います。	今後も保護者様やきょうだい児さんの同士の交流の場となる行事を、定期的に企画していきたいと思います。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	11	0	お子様には、「何か困ったことがあった時は言ってね」と伝えており、何か伝えたそうな時は声掛けさせてもらっています。保護者様にも契約やモニタリングの際に、「気になることやご相談がありましたら、いつでもお電話やSNS、連絡帳にてご相談ください。又事業所に来て頂くかご自宅に伺って相談対応させてもらうことも出来ます」とお伝えさせてもらい、その都度相談対応をさせてもらっています。	支援時間中はなかなか相談対応をする時間を設けるのが難しいので、サービス提供時間外に相談対応の時間が設けられるよう保護者様と相談し工夫してまいります。
事業所の取り組み等	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に對して発信しているか。	11	0	行事予定はおたよりやSNS、ハートリンク(通所管理ソフト)を活用してお知らせしたり、イベントの詳細についてもSNSにてお知らせしています。又、毎月のおたよりやHPのブログ、インスタグラム等で日頃の活動の様子をお知らせしています。	今後もブログやインスタグラム等を活用して、チャイルドハート大在の活動をご覧いただけるようにしていきます。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	11	0	個人情報の取り扱い規約を職員入社時に説明し、資料の持ち出しや情報を外部へ向外しない事の周知を徹底しています。ブログの写真は顔を隠した状態で掲載し、顔写真の載ったおたよりは、利用されているご家庭のみ配布しています。個人のファイルや記録等は鍵付きの倉庫に保管しております。	個人情報の取り扱いについて、新しい職員にもその都度説明し、厳重に管理していけるように心掛けます。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	11	0	意思疎通の確認は、声掛けのみでなく、写真・絵カードやジェスチャー等、1人ひとりに合った確認しやすい方法で行っています。保護者様には、おたよりとは別に、イベントごとにSNSでお知らせし、わかりやすく詳細をお知らせする様にしています。	保護者様にも日頃からわかりやすい説明を心掛けます。又、発語のないお子さんのとの意思の疎通や情報伝達は、必要に応じてその都度絵カードや写真カードを追加していく等工夫して参ります。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	11	地域の方を招待するような行事は実施したことありませんが、地域で行われたお祭りに参加して、地域の方と交流させて頂きました。	事業所の行事に地域の方々を招待されている事業所さんの取り組みを参考にして、今後実施していくよう検討して参ります。

非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	11	0	各種マニュアルを作成し、それぞれ、火災・地震・津波・水害・防犯・感染症の発生を想定した訓練を実施し、消防署に協力をお願いした通報訓練も行っています。保護者様にも訓練にご協力いただき、避難場所や連絡先の送信を行っております。	職員だけでなく、お子様にも防災の意識を持つて訓練に参加してもらえるよう、わかりやすい説明と訓練をこれからも実施していきます。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	11	0	12月にBCP研修を受講し、計画した上で、2月にBCP訓練を実施予定です。	実際の災害を想定したBCP訓練が行えるように計画していきたいと思います。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	11	0	アセスメントの際にてんかんの有無や薬の服用、予防接種についての情報を伺いしています。	途中で薬の服用が増えた、減った等の情報はモニタリングの際にお伺いしていますが、日頃から保護者さんに、変更があった場合はお知らせ頂くようお願いし連携していきます。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	11	0	アレルギー検査の結果を保護者さんから頂いた情報を基に、卵、アルコール、ハウスタスト、植物、動物等のアレルギーがある児童さん表を掲示し、全職員で気を付けて対応するよう心掛けています。	アレルギー症状が出た時に起こりえる症状を職員間で共有し、クッキングや外食の際には原材料の確認を行う等して気を付けていきます。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	11	0	安全計画を策定し、定期的に委員会や研修を行っております。	安全管理委員会や研修、訓練を基に、車両点検や環境管理等に留意し、安全に利用して頂けるよう心掛けます。
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	11	0	緊急時の連絡先や避難場所を契約時にお伝えし、計画・訓練を実施していることをお伝えしています。	安全計画の内容について詳細の説明はしていないので、今後隨時お伝えしていくようにします。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	11	0	少しの事でもヒヤリハットとして記録を残し、対策について検討した上、全職員が記録を回覧するようにしています。	ヒヤリハットを活用し、事故を未然に防げるよう、職員間でお互い気を付け合い、安全に努めたいと思います。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	11	0	毎年チャイルドハート本部が主催する虐待防止研修に全職員が参加しております。	どういう行動や言動が虐待になってしまうということを職員が共通認識を持ち、適切な対応が出来るようにします。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	11	0	支援計画に記載し、都度保護者の方にも説明を行い、同意を頂くようにしています。	なるべく身体拘束をせずにカームダウン出来るよう、その都度対応について職員と検討して参ります。